



# うわじま 市議会だより

平成22年

(2010)

第 **21** 号

12月1日



👉 大正初期の吉田湾

わたしのまちの今・昔

## 新しい議会構成決まる

議長に福本義和議員が就任

副議長に清家康生議員

一般会計補正予算 2億4,134万円を可決

累計 406億8,378万3千円



👉 現在

- 就任あいさつ・臨時会の概要・定例会の概要 …… 2
- 新しい議会構成・人事の同意・請願陳情 …… 3～4

もくじ

- 代表・一般質問 …… 5～12

# 議長に福本義和議員が就任 副議長に清家康生議員



議長 福本 義和



副議長 清家 康生

市民の皆様には、平素より議会に対しまして、「ご指導並びにご協力を賜り、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

このたび、9月定例会におきまして、多数の議員の推挙により、私たちが正副議長に就任いたしました。今後とも、市民の代表として信頼される議会を目指して、様々な課題に取り組んでまいりますので、ご声

よろしくお願いたします。

さて、長引く景気の低迷は、宇和島市の財政に深刻な影響を及ぼしており、主力となる第一次産業の低迷による大幅な税収入の落ち込み等、経済の活性化は焦眉の急となっております。

このようなか、財政の健全化に向けて、従来の慣例にとらわれることなく、より一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、市民の皆様が住み慣れた地域の中で、安全安心に生活できるまちづくりを実現するために、議会の権能をいかなく発揮していくことが、私たち議員の使命であると考えております。

市議会の運営が公正かつ円滑に行われますよう、誠心誠意努めさせていただきますので、市民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます、就任のご挨拶といたします。

## 臨時会の概要

平成22年8月宇和島市議会臨時会は、8月3日に招集され、1日間の会期により開催されました。

まず、専決処分した5件について報告があり、承認されました。

次に、「工事請負契約について」が、理事者より説

明があり、採決の結果、原案のとおり可決されました。



## 定例会の概要

平成22年9月宇和島市議会定例会は、9月17日に招集され、10月7日までの21日間の会期により開催されました。

### 【初日】9月17日

「宇和島市地域情報ネットワーク施設設置条例の一部を改正する条例」他19議案が提出され理事者より説明がありました。

### 【2日目】9月27日

代表質問に5名の議員が登壇し、市政全般に関しての質問が行われ、活発な質疑応答が行われました。

### 【3日目】9月28日

一般質問に3名の議員が

登壇し、活発な質疑応答が行われたあと、初日提出議案、請願・陳情が、所管の常任委員会に付託されました。

また、「平成21年度宇和島市公営企業会計決算の認定について」及び「平成21年度宇和島市一般会計及び特別会計の認定について」は、決算審査特別委員会を設置して、これに付託の上、閉会中の継続審査となりました。

8月臨時会審査結果

番号	件名	議決結果
報告第9号	専決処分した事件の報告について	承認
専決第21号	車両接触事故の和解について	
専決第22号	車両接触事故の和解について	
専決第23号	車両接触事故の和解について	
専決第24号	宇和島市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	
専決第25号	宇和島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	即日原案可決
議案第76号	工事請負契約について	

### 【最終日】10月7日

各常任委員長から委員会における審査経過と結果についての報告があり、採決の結果、原案のとおり可決決定されました。

また、追加案件として上程された、人事案件2件につきましても提案のとおり同意可決されました。

続いて、議員提出議案について提出議員より説明がなされ、採決の結果、原案どおり可決決定されました。

続いて、地方自治法第103条第1項の規定により、議長副議長選挙を行ったあと、常任委員会の所属変更、決算特別委員会の委員選任を行い、9月定例会を閉会いたしました。

議 会 構 成			
議 長 : 福 本 義 和 生			
副 議 長 : 清 家 康 生			
委員 会名	委員長	副委員長	委 員
総務委員会	三好 貞夫	三曳 重郎	山内 秀樹 木下 善二郎 薬師寺 三行 赤岡 盛壽
厚生委員会	大窪美代子	赤松 孝寛	岩城 泰基 赤松 与一 兵頭 司博 泉 雄二 浅田 良治
教育環境委員会	石崎 大樹	安岡 義一	福島 朗伯 我妻 正三 清家 康生 藤堂 武継 土居 秀徳
産業建設委員会	上田 富久	正木 健三	梶山 義将 坂尾 眞 松本 孔 山下 良征 小清水 千明
議会運営委員会	小清水 千明	石崎 大樹	三曳 重郎 大窪美代子 赤松 与一 上田 富久 松本 孔 山内 秀樹 三好 貞夫 浅田 良治

9月定例会審査結果

番 号	件 名	議 決 結 果
報告第15号	専決処分した事件の報告について	承 認
専決第26号	貸室明渡等請求の調停申立について	
専決第27号	車両接触事故の和解について	
専決第28号	交通事故の和解について	
専決第29号	市営駐車場における事故の和解について	
専決第30号	市営駐車場における事故の和解について	
専決第31号	住宅損傷事故の和解について	原 案 可 決
議案第77号	宇和島市地域情報ネットワーク施設設置条例の一部を改正する条例	
議案第78号	宇和島市奨学資金に関する条例の一部を改正する条例	
議案第79号	宇和島市真珠養殖経営特別対策資金の利子補給に関する条例	
議案第80号	宇和島市産業振興条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	
議案第81号	宇和島市同意企業立地重点促進区域における緑地面積率等を定める条例	
議案第82号	平成22年度宇和島市一般会計補正予算(第2号)	
議案第83号	平成22年度宇和島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第84号	平成22年度宇和島市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第85号	平成22年度宇和島市病院事業会計補正予算(第1号)	
議案第86号	財産の取得について	即日原案可決
議案第87号	財産の取得について	原 案 可 決
議案第88号	財産の取得について	
議案第89号	財産の譲渡について	
議案第90号	財産の譲渡について	
議案第91号	新たに生じた土地の確認について	
議案第92号	新たに生じた土地の確認について	
議案第93号	字の区域変更について	即日同意
議案第94号	字の区域変更について	
議案第95号	宇和島市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第96号	宇和島市監査委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第97号	宇和島市監査委員の選任につき同意を求めることについて	
認定第1号	平成21年度宇和島市公営企業会計決算の認定について	閉 会 中 の 継 続 審 査
認定第2号	平成21年度宇和島市一般会計及び特別会計決算の認定について	
議員提出議案第18号	公立高等学校授業料不徴収交付金算定方法等に係る制度見直しを求める意見書	即日原案可決
議員提出議案第19号	本州四国連絡高速道路の新料金制度の見直しを求める意見書	即日原案可決
議員提出議案第20号	持続可能な森林経営の推進を求める意見書	即日原案可決
選挙第1号	宇和島市議会議長の選挙	即日当選
選挙第2号	宇和島市議会副議長の選挙	即日当選
	常任委員会委員の所属変更について	指名推選
	議会運営委員会委員の一部構成替えについて	即日当選
選挙第3号	宇和島地区広域事務組合議会議員の補欠選挙	即日当選
選挙第4号	南予水道企業団議会議員の補欠選挙	即日当選
選挙第5号	津島水道企業団議会議員の補欠選挙	即日承認
	平成21年度宇和島市公営企業会計決算審査特別委員会の設置について	指名推選
	平成21年度宇和島市公営企業会計決算審査特別委員会委員の選任について	即日承認
	平成21年度宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会の設置について	指名推選
	平成21年度宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会委員の選任について	即日承認
	議員の派遣について	即日承認

事務組合・企業団員名簿

宇和島地区広域事務組合議会議員	梶山 義将・赤松 与一 松本 孔・山内 秀樹 兵頭 司博・福本 義和 泉 雄二・浅田 良治
南予水道企業団議会議員	清家 康生・山内 秀樹 三好 貞夫・福本 義和 土居 秀徳
津島水道企業団議会議員	三曳 重郎・石崎 大樹 兵頭 司博・福本 義和 泉 雄二

人事の同意



本定例会において、市長から3件の人事案件が提案され、満場一致で同意し、次の方が選任されました。

●教育委員会委員

廣瀬 孝子

(津島町岩松丁20番地12)

●宇和島市監査委員

佐々木 吉則

(長堀3丁目3番12号)

泉 雄二

(津島町高田内157番地1)

請願陳情

(この議案は提出分)

◆請願第11号

グラウンド・ゴルフ場(認定コース)開設に関する請願書

(産業建設委員会)  
継続審査

◆陳情第12号  
陳情書（市道用地の寄付について）  
（産業建設委員会）

◆陳情第13号  
学校給食無料化の実施を求めるとの決議の陳情書  
（教育環境委員会）

◆陳情第14号  
市道認定に関する陳情書  
（産業建設委員会）

◆陳情第15号  
甘崎保育園建て替えに関する陳情書  
（産業建設委員会）

◆請願第1号  
宇和島市祝森柿ノ木地区へのごみ処理施設新設地反対を求めるとの請願書  
（教育環境委員会）

◆陳情第8号  
空き店舗対策支援金に関する陳情書  
（産業建設委員会）

# 意見書

9月定例会に議員提出議案として提出された意見書は議決され、関係省庁等へ提出されました。

## ★公立高等学校授業料不徴収交付金算定方法等に係る制度見直しを求めるとの意見書

「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」により、今年度から公立高校の授業料が無償化され、これまで地方公共団体が徴収していた授業料に相当する額を国が「公立高等学校授業料不徴収交付金」として負担することになった。

は、各都道府県に従来の授業料収入と同程度額の交付金が確保され、収入減が生じることのないよう、また、新たな多額の財政負担が生じないよう、公立高等学校授業料不徴収交付金算定方法等に係る制度見直しをすることを強く要請する。

この政令に基づき、交付金を算定すると、多額の収入減となる地方公共団体が生じるため、国の責任において必要な財源を全額確保すべきであり、都道府県等が多額の経費を負担させられることは、由々しき事態である。

よって、国においては、「公立高等学校授業料不徴収交付金」を算定する際に

## ★持続可能な森林経営の推進を求めるとの意見書

長期にわたる木材価格の低迷や木材需要の伸び悩みなど、森林・林業・木材産業は、かつてない厳しい状況に置かれている。

現在、政府は、昨年12月に発表した「森林・林業再生プラン」をはじめ、本年5月19日に与野党全会一致で可決成立した「公共建築物等の木材利用促進に関する法律」等について、具体的な推進策等の検討を進めている。

よって、国においては、間伐の推進や長伐期化・混交林化等、多様な森林整備を計

画的に推進するとともに、森林所有者はもとより流域自治体や都市住民等の適切な役割分担による持続可能な森林の管理・経営システムを構築し、健全な森林の管理・整備を図り、平成22年度末で終了する「緑の雇用担い手対策事業」の継続による林業就業に必要な技能・技術の研修など、多様な担い手の確保・育成への支援を強化する等今後、森林吸収源対策や森林・林業の再生を進めるに当たり、特段の措置を講じられるよう強く要望する。

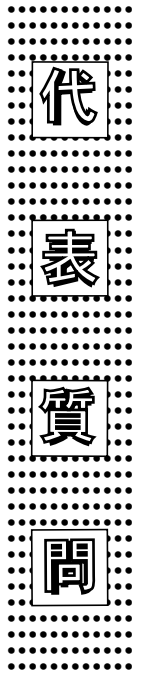
## ★本州四国連絡高速道路の新料金制度の見直しを求めるとの意見書

本州四国連絡高速道路は、全国の高規格幹線道路ネットワークを構成しており、その機能・役割は、他の高速道路と同一であるにもかかわらず、現在、他の高速道路と比べ極めて割高な料金となっている。

しかし、4月9日に政府が発表した新たな料金割引制

度では、本州四国連絡高速道路について、他の高速道路と比べ軽自動車・普通乗用車で、それぞれ1千円の割高設定となるうえに、四国と本州を行き来する場合、当路線分の上限料金が上乗せされることとなり、本州内や九州と本州の移動と比べ2倍以上の料金が必要となっている。

よって、国においては、本州四国連絡高速道路を含む高速道路の料金については、全国一律の料金制度とし、高速道路と競合する公共交通機関に対しては、総合的な公共交通体系の構築を見据え、各交通機関に際したきめ細かな支援策を講じること等に十分配慮し、本州四国連絡高速道路の新料金制度の見直しをされるよう強く要望する。



自民党議員会

福島 朗伯

### 広域ゴミ処理場建設 計画について

【質問】

建設予定地は、その中心部をお遍路さんが通る遍路道がある訳ですが、この道は内海村柏の山中より松尾峠を越え、宇和島に入る江戸時代以前の昔より今も多くのお遍路さんが歩いていゝる、古い歴史のある遍路道であります。これを焼却場建設のために潰してしまふといつては、今、四国全体で取り組んでおります四国遍路の世界遺産指定にも大きな影響があるのではないでしょうか。市長はこの古くからの貴重な歴史文化をどのようにお考えでしょうか。

【答 弁…市長】

私としてもお遍路文化というのは四国の本場に誇る

べき、また守るべき大切な文化遺産であるという認識をしております。愛南町柏から津島町の高田に至る、

柏坂という遍路道では難所の一つということでも有名です。また、松尾峠、そして宇和島に至る道はこの松尾峠以外にもう一本、野井坂の方がメインではなかったかということも言われておりました。この道路もところどころではありますがまだ残っているという状況がございます。私としても興味がありまして、市長になってから市民の方々と一緒に柏坂も、松尾峠を越える道も歩きました。そういうことで、できるだけ遍路道といふのは保存していきたい。それは市民の皆様にも負けないくらい私も思っております。ただ今回、宇和島市もこの焼却場、熱回収施設を建設するに当たっては、私としてはあそこが一番適地だと思っておりますので是

非ともご理解頂きたいと思っておりますし、遍路道についてはそういう意味においても極力、現状を変えないように努力はしていきたいと思っております。

【質問】

建設予定地は、松尾盆地の中心部であり、柿の木川の水源地でもありません。

こうした緑の山里を守るため、建設用地不売同盟を結成され、建設用地不売者5名建設用地調査、測量の不同意者1名、計6名の方々の同意を得られております。全面積は、6千249㎡、実測すれば2割程の増加が見込まれます。こうした建設用地不売宣言者の土地は中央部に位置し、面積も3分の1以上あり、もし土地を売って頂かなければ、今回のごみ焼却場建設の可能性は難しいのではないのでしょうか。

【答 弁…市長】

あくまでも過程の話として、売らないと言っている方々に全員拒否されますと、用地は大変狭くなり、行政の予定している十分な広さ

の土地というのは難しくなるということをお心配いたしております。私としては、今の技術水準で宇和島市の人口規模ということを考え、た時に、熱回収施設、ゴミ焼却場の焼却処分というのはどうしても必要な施設であります。どこかには造らなければいけない施設であるということをお是非ともご理解をして頂いて、今建設に対して、後ろ向きの方々に、あらためてお願いをしていきたいと思いますし、今は測量ということをやっておりますので、これについてご協力を頂きたいとお願いをしております。また今後とも地主の方々にはお願いをしていこうと思っております。議員にも宇和島市に必要な施設であるという認識をして頂きましたので、是非一緒になって、地権者の方々に説得して頂けるように、宜しくお願いたします。

【質問】

これだけ言われたのは、市長が賛成派の方と一生懸命にお話しをされて、反対派の方との会話がなかったの

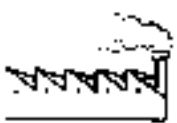
が、私は一番の原因だと思っております。市長は自ら足を運んで、200回でも300回でも頭を下げて話し合いをして、土地を売らない反対派の方々の同意を得るしか、これはもう方法がないのではないかと思っております。もしどうしても最後に土地を売らないということになれば、市長は強制執行でもされるような気持ちはございませんか。

【答 弁…市長】

現時点での私の気持ちは、200回、300回、何度も機会をとらえて関係の方々にお願いを申ししていきたいというふうに思っておりますし、今後とも必要な説明はやっていこうと思っておりますので、是非ご理解頂きたいと思っております。

### その他の質問事項

- ◆漁協問題について
- ◆丸山球場について





自由民主党

石崎 大樹

## 財政について

### 【質問】

自主財源が乏しく、歳入の3/4を交付税に依存している当市では、国の政策如何によっては財政運営にも影響を及ぼす現状であります。国においては地域の活性化、地方が自由に使える財源を増やす目的で、地方交付税の総額を増やし、22年度においては財源不足の中、前年度に比べ1兆円を越える地方交付税の増額を行っております。当市でも19年度以降、毎年交付税は増額となっておりますが、国の財政状況から見ても、現状で推移する事は考えにくく、その反動がいつくるのか大変危惧するところであります。

自主財源の柱である市税は、4億5千万円の減収となっておりませんが、これは当初の財政計画では想定していなかった減収額であっ

たと思えます。また、昨年より業績が悪化している事業所は多くなっており、今年度も市税の減収が考えられますが、現在の財政状況についてどのように考えておられるか伺います。

今年度、新たに示された22年度と27年度の中期財政計画について、20年度と24年度の計画から大幅に修正をされており、特に国からの地方交付税が大幅に増額されておりませんが、その要因についても伺います。

### 【答 弁：市 長】

まず財政についてですが、財政の健全化は行政の最大の目標であり、今もお財政健全化にむけて取り組んでいます。具体的には職員定数の適正化、合併しして職員数はまだまだ多いと私は感じておりますので、厳しい削減を末だに実施している状況であります。

また、財政指数等の改善のために、公的資金の保証金の免除、繰上償還制度を国が認めてくれましたので、これを最大限利用して健全化にも努めています。

また、補助金も検討委員会を設けて、市民の意見を聞きながら削減に努めてまいりました。

そのような取組みを総合的に実施した結果、計上収支比率もギリギリではありますが80%となっておりますし、また、実質公債比率も大幅に改善することができました。

そのようなことで、宇和島市の財政状況は、決して満足できるものではありません、特に税収の落ち込みが一番厳しく、税収を増やすとすれば、やはり産業の活性化等を通じて、市民の資金の回りをよくし、結果として宇和島市に大きく寄与しております固定資産の低下を食い止めて、税収を増やす方向にしていきたいと考えております。

22年度からの新しい中期計画については、確かに以前策定した計画よりも増えています。これについては理由ありまして、一つは子供手当が今年から導入され、これに関して10億円ほど支出が増えております

が、手当ては国が全額負担としておりますので後に入ってくることでなっております。

生活保護費も残念ながら3億円を上回って増えております。これについては市が1/4の負担となっており、心配しているわけですが、今の経済状況下ではやむを得ないと考えております。

しかしながら、これを改善するためには、市の経済を活性化して人々が働く場を作り出し、提供できるようにしていくことが唯一の改善策ではないかと考えており、そういった意味でも経済の活性化は努力しなればならない課題と考えております。

今回、民主党政権において地方が自由に使えるお金を増やしていくという大きな政策の下に、地方交付税が増額となっており、当市でもリーマンショック以降の景気対策を最大限利用し、雇用関係で5億円を超える予算を組んでおります。

一方で、私としてもこの国の政策がいつまでもある



とは思っていません。いつかは国も財布を締めざるを得ないときが来ると考えており、それに対応するためには自主財源の確保をきちんとしておく必要があります。

税収が少ないので決して安泰とはいえませんが、現在は概ね計画どおり財政運営を行っています。しかし、ご指摘のように、国からの財源がなくなったから運営ができなくなるということの無いように、肝に銘じて運営をしてまいります。

## その他の質問事項

- ◆ 教育行政について
- ◆ 病院局について
- ◆ 福祉行政について
- ◆ 指定管理者制度について

自民党市民クラブ

栢山 義将

宇和島市中期財政計画について

【質問】

今年5月に平成22年～27年度の中期財政計画が提案され、私は、歳入歳出額の規模の差に驚きました。前計画と今回の財政計画との重複部分であります平成21年度から24年度の4年間を比較すると232億円の差額があったからです。

前回の歳出合計が4年間で約1千430億円。今回の歳出額合計は約1千662億円。差額が232億円。単年度では48億から66億の差がありました。中期財政計画が2年の間にこれ程の差があつていいものか疑問がおきました。

確かに自民党麻生政権の経済対策、いわゆるバラマキ政策、そして政権交代による民主党の子ども手当を象徴した、これまたバラマキ政権ですが、制度新設や

拡充などによる制度改正に伴うものが大きな理由と思われれます。例えば、子ども手当で、月額1万3千円ですが、子ども手当での創設は今回の財政計画が膨らむ大きな要因です。他にも予算規模がふくらんだ理由があると考えますが、この点について市長にお伺いいたします。

また、今回の中期財政計画の試算の考察として「今後に向けて」の中で財政当局も述べているように国の政策で今後どのように拡充されていくのか、財源の負担はどうなっていくのか、未だ不透明な状況です。

宇和島市は歳入の多くを交付税に頼っています。このことは宇和島市広報9月号で平成21年度の決算、財政状況レポートとして、市民の皆さんにも報告していますが、市税、手数料など自主財源は26・2%です。これは県下11市の中で西予市に次ぐ下から2番目の低さです。地方交付税、国庫支出金など依存財源に支えられているのが現状であり

ます。

市の考察で指摘しているように、合併して10年後の平成28年度からは合併特別債の発行期間が終了し、普通交付税が段階的に一本算定になっていき、交付額が大幅に減少します。

このような現実が待っている中、交付税依存からの転換は至難の業であります。財政当局が指摘しているように経常経費はいまでもなく、投資的経費や補助金などの政策的経費についてもこれまで以上に大局的な視点に立って判断していく必要があるということ

です。そのためには、市長もしっかりとした事業の優先順位を示し将来を見据えた理念がなければなりません。市長の所見をお伺いします。

【答 弁：市長】

20年に作った中期財政計画と22年に作ったものを、22年度当初予算と比較しますと、約64億円前回の分には比べて増えております。その要素としましては、まず子ども手当で8億円弱増

え、父子手当等が増額、生活保護の部類が、3億円近く増額、トータルすると扶助費の部類が、11億円以上増えていきます。国から大部分はくるということで財政運営上はあまり問題がありませんが、国がいつまで続けられるかという大きな問題もあります。

あと、公共下水道の繰出し金を、今年5億円以上予定しております。大きなものでいきますと、吉田病院中心として資金不足が結構おきており、それを補うために、一般会計から今年度は、12億円病院会計に貸し出しをします。ただ、これについては、年度末に返してもらいます。

今年度の特殊な要素としては、天赦園グラウンドの買入れということがあり、当初予算で、11億円の買入れ金額を想定しておりました。これにつきましては、一昨年ご当主が亡くなられてからの物納という経緯を経ての結果ということで、本当に計画に合ったものです。

あと、国の景気対策ということで、事業が、投資的なものも含めて5億円以上のものが増えており、積み上げにおいて64億円近くのもの当初予算で増えているということ

です。私としましては、経常経費、義務的な経費を増やしてしまうと今度交付税が減った時に対応できなくなってしまうという危険性を常に感じておりまして、人件費につきましては、今年度も計画に比べても1億1千2百万円さらに削減をするという計画をくんでおります。

その他の質問事項

- ◆二元代表制における議会の重要性について
- ◆市長のマニフェストについて
- ◆経済の活性化について
- ◆重要施策について



赤松 与一

産業振興について

【質 問】

第一次産業の発展なくして宇和島市の発展はないという気持ちを持ちながら、第二次産業、観光業へのウエイトを今後上げていくべきではないかと思えますが、市長の考えをお聞きます。

【答 弁：市 長】

私も一次産業をなんとか復活させるとともに、観光産業を中心とする第三次産業の活性化を図っていききたいと考えています。

【質 問】

具体的な方策があれば述べていただけますか。

【答 弁：市 長】

核になるものがないというのが一番の弱みであると思っています。そんな中、宇和島市にある資源を有機的にうまくつなぎ合わせて観光に来ていただける方を増やしていきたいと考えて

いますし、その方策として、高速道路の全通を機会にイベントを行い、我々が持っている資源を日本中、できれば外国にも宣伝できるようにして、入り込み人口、観光客を増やしていきたいと考えています。

【質 問】

24年の3月には西予宇和島間も高速道路が開通いたします。宇和島市に一泊していただく観光プランを作るべきだと思えます。作っていただきたいと思います。

【答 弁：産業経済部長】

単独で一泊プランを作ったことはありませんが、愛媛新聞旅行、JR四国、ANAなどと協同して商品化したことはございます。

【質 問】

木屋旅館について、国の有形文化財に認めてもらう確証はあるのか。また、指定されればどのような利点があるのか答弁をお願いします。

【答 弁：市 長】

文化庁の所管するところに聞いている範囲では、十分に可能であると聞いております。指定されますと文

化財ということでは箔をつけることができる、そして文化財のリストとして載りますので宣伝周知というメリットも出てくると思っております。また市民の誇りある施設の一つになってもらえればと思っております。

【質 問】

果樹も戸別所得補償制度の対象にして欲しい。特に柑橘に対して、国・県に働きかけて頂きたいのですが。

【答 弁：市 長】

説明会の中で、昨年度から国・県に対しては柑橘類に対しても所得補償制度の導入を早急にやって欲しいという要望はしています。今後運動を続けていききたいと思っています。

高齢者対策について

【質 問】

全国で高齢者の所在不明者が問題となる中、当市においては、定期訪問などをしていくのでしょうか。

【答 弁：保健福祉部長】

民生委員にお願いして見守り推進員として月に一度

訪問していただいているのが現状です。このほか配食サービスや緊急通報システムの活用による複合的な施策により、高齢者の方を見守りしていますが、やはり最後は地域のお力が大事ではないかと考えています。

【質 問】

70歳以上の老人が増える中で老人クラブの活動が少し弱まっています。原因がどこにあると考えますか。

【答 弁：保健福祉部長】

全国的にも老人クラブは存続自体が難しいという事例が報告されています。原因としては会費、役員就任への負担感、また老人という言葉自体に抵抗があるため加入に抵抗感があるという意見が多く、活動的な方程敬遠しがちな状況になっていまして、当市においても、一概には申せませんが、そのようなことが原因ではないかと考えています。

【質 問】

青年団、婦人会、老人クラブと長く続いていた組織が少しずつ壊れつつあります。組織がなくなれば、人々



は自由になりますが、地域は団結がなくなり発展しなくなるのではないかと心配するのですが、市長はどう考え、また、どう対応していく考えをお聞きます。

【答 弁：市 長】

私としても、いい手がないというのが正直なところですので、出来る限り呼び掛けを頻繁にやっていく以外にないんではないかと思っております。会の方々を中心に行政、そして地区の役員の方々と老人クラブと自治会の加入ということも、その啓発を促進していきたいと思っております。

その他の質問事項

- ◆行財政計画について
- ◆子ども手当について
- ◆きさいや広場について



公 明 党

松本 孔

## 過疎債のソフト運用 について

【質 問】

本年4月1日から過疎地域自立促進支援法が延長されることになりました。

予約制乗り合いタクシー、すなわちデマンドタクシー制度の導入を強く求めたいと思います。バス停まで歩けないとなると、もう自宅から目的地に直接移動できるドア・ツー・ドアの環境整備をするしかない状況であります。過疎地域自立促進支援法が延長され、ハード事業に限られていた過疎債の起債対象にソフト事業が加えられることになった今がチャンスであります。広い過疎地域を抱えるわが市では、交通弱者対策は避けて通れない緊急課題です。増え続ける高齢者の交通事故を見逃さないためにも過疎債を活用してデマンドタクシーを導入すべきで

あると強く訴えるものであります。ご所見をお聞かせください。

【答 弁：市長】

「コミュニティ事業、特に地域の足をどのように確保するかについて大いに考えるべきこと」思っております。一方、来年度から小学校の統廃合に取り組んでまいります。さらに、救急体制の再検討という私なりの目標を持っております。これらを総合的に考えたときに過疎債を利用してどのように組み立てていけばよいか、また、住民の方にとって一番安心できる地域をどうつくるか、これから早急に煮詰めをしていつて来年度にはそれを実現していきたいと考えております。財政の健全化を保ちながら出来る限り多くの事業が出来るように必要度を認識しながら進めていきたいと思っております。



## 予防ワクチン助成、 がん対策について

【質 問】

子宮頸がんや細菌性髄膜炎などの病気から女性や子供を守る予防ワクチン。こうしたワクチンの接種は任意のため、全額自己負担が原則ですが、経済的負担を軽減するため、公費助成に取り組む自治体が広がっていることが厚生労働省の調査で明らかになりました。

私たち公明党は七月に、子宮頸がんの予防接種を全額国費で補助することなどを柱とした「子宮頸がん予防法案」を参院に提出しましたが、次期通常国会に再提出し成案を目指し、全力投球してまいります。

① 来年度予算編成にあたって、こうした地方自治体に広がる予防ワクチンについて、わが市も積極的に取り組むべきと考えながら、市長の考えを伺いたい。

② 特に予防できる唯一のがんが子宮頸がんであり、検診とワクチン接種を併用すれば「ほぼ100%」発見

できるとされています。来年度も乳がん・子宮頸がん検診クーポンを継続実施し、我がまちも「子宮頸がんゼロ」へ挑戦すべきと考えながら、伺いたい。

③ 日本は世界有数の「がん大国」であり、がん対策の柱の一つであるがん検診について、「がん対策基本計画」では2011年度までに、受診率「50%以上」という大きな目標を掲げています。無料クーポンで少し上がっても全国平均は24・5%です。目標年次まであと1年半、我がまちの受診率アップの取り組みについて伺いたい。

【答 弁：市長】

子宮頸がんのワクチンについては国も一部といながら補助という方向に傾いてきていると理解しております。是非ともこればかりとした方法で出来るように、県下の市長会で連携を取りながら進めていきたいと思っております。宇和島市のレベルということになると、対象が数千人ということにもなってきます。

それに対応して、今子宮頸がんのワクチンが一人5万円近くという大変な費用がかかりました。現実的な対応も考えていかなければいけません。せっかく開発されたワクチンがより安全に使われる体制を考えていきたいと思っております。

がん対策として基本計画に沿って受診率を50%以上に上げることでもクーポン制度が取り入れられました。最低5年間はやらなければ意味がないと思っております。是非とも5年間は続けられるように国に対して財政措置も含めて継続していただければという運動してまいりたいと考えております。

## その他の質問事項

- ◆ 学校の熱中症対策について
- ◆ 熊本市、直島町の視察をおえて
- ◆ 城山周辺の景観保全について
- ◆ 静愁苑の通夜室・納骨堂について
- ◆ 伊達博物館について
- ◆ 広域新ごみ処理施設建設について



日本共産党

坂尾 眞

### 国民健康保険料問題について

【質問】

平成22年度の国民健康保険料の値上げについてお聞きします。

今回の値上げは、被保険者の減少と被保険者世帯の所得の減少による保険料収入の減少、また保険給付費の増加による約2億7千万円の赤字を見込んでのもので、しかし国保に加入している中小業者、農業を営む世帯の所得が急激に落ち込んでいくときに、追い討ちをかけるように保険料を値上げするべきではないと考えます。今回の値上げは1人当たり4千4百1円、3人世帯で1万3千2百円となっておりこの金額は大きな負担になってい

### 一般質問

ます。被保険者世帯の所得は落ちているのに、保険料は値上げとなり、金額は増えないまでも所得に対する国保料の負担割合が増えるのです。国保の事業勘定では、平成21年度も大幅な赤字が危惧されていましたが、財政調整交付金等で実質615万円の赤字ではなかったのでしょうか。

【答 弁：保健福祉部長】

国民健康保険は加入者数が減少しているにも関わらず、保険給付が増加しているということで大変厳しい運営を迫られているのが現状です。

平成21年度決算については黒字決算となりましたが、会計規模から見ますと、安定した保険運営に使用できるような額ではありません。また、保険給付につきましては、医療技術高度化の影響に加え、診療報酬改定の影響もございまして22年度も引き続き高い水準で

診療報酬が推移することが見込まれております。

このような状況を考慮した上で、医療給付分の保険料率を見直した結果、一人当たり約4千円の値上げとなりました。後期高齢者支援金分と介護保険給付金の保険料については据置きとされており、全体としては約2千円の値上げとなっております。長引く景気低迷に加え、所得収入が減少している中ではありますが、加入者の皆様が安心して医療を受けるための見直しでございますので、是非ご理解をお願いいたします。

【質問】

宇和島市は今回の値上げで一人当たりの保険料が9万6千7百54円になり、四国中央市に次いで県下2番目に高い街になりました。負担が増えれば、確実に徴収率に影響します。宇和島市の平成21年度国保料の現年分徴収率は91・81%です。払いたくても払えない人が増え、徴収率が国のペナルティ基準以下になればそ

れも大きな問題になります。宇和島市は昨年度、一般会計からの法定外繰り入れはしていません。全国の自治体1788の内、法定外繰り入れした自治体は1223で約70%に達しています。これは国民健康保険問題の深刻さを反映していると思われま

す。宇和島市においても適宜繰り入れして値上げをしないと約束できませんか。医療保険制度が崩壊していると言っても過言ではない状況で、市民の暮らしと福祉を守ることを目的とする市長にお伺いします。

【答 弁：市長】

私としては、値上げは無いほうが好ましいと思いますが、一方で各会計の受益者の立場で考えたときに、その会計で受益を受ける方にご負担を願うという原則は貫かなければならないと考えております。

その中に国保会計、宇和島市が主体しておりますが、これに加入している方々で基本的には必要な負担をして頂く、そうしな

ければ、これが市民100%加入している保険会計であれば、行政の税金を支出することに於いても理解を得られるかもしれません。しかし当市ではすべての人が加入しているわけではありませんが、他の保険に加入している方にも補填をしなければ不公平を生じます。

そのような状況を踏まえ、私としては、原則その会計で受益を受ける方は、その方々の保険料でまかなっていくことが望ましいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

### その他の質問事項

- ◆ 広域新ごみ処理施設建設問題について
- ◆ 市立病院問題について
- ◆ 学校給食無料化について
- ◆ 住宅新築資金問題について



社会民主党

岩城 泰基

### 平和行政、平和教育について

【質問】

8月6日の広島平和式典、8月9日の長崎平和式典を中心に、核兵器全廃に向けた様々な取組が全国的に展開されました。

広島平和式典で行われた秋葉市長の平和宣言は「あやれんのう、こがあなつらい目に、なんであわにゃあいけんのかいのう。」といった広島弁で始まり、非核三原則の法制化と核の傘からの離脱、そして黒い雨降雨地域の拡大、高齢化した世界全ての被爆者にきめ細かく優しい援護策の実現を格調高く謳いあげています。

秋葉市長の「平和宣言」に対して市長はどのように考えるのか、見解を求めたいと思います。

【答 弁…市長】

世界で最初の被爆にあわれた広島と「ひろしまたま

秋葉市長の思いというのは大変重たいものがあると私も受け止めております。そしてまたあらためて平和の大切さを日本国民が望んでおると思っています。核の全廃、廃絶ということについても、

少しづつ可能性ができており、世の中が動いていると思っております。今年には特に被爆国代表として発言の中でその攻撃を加えた方々も参加をされたというところで、新しいページが加わったのではないかと思っております。我々としても核の無い世界ということが実現するようにこれからも祈っているというところでございますし、また市長としては何ができるかということを考えていただければいけないと思います。ただ一方ではやはり、世界の仲というのは本当に難しいなあということ、最近の日本を取り巻く情勢の中でも考えておりました。



て、日本国民が世界の国々とどうやって付き合つか、もう一度考えなければいけないのではないかと思っております。

【質問】

広島平和式典では、2人の児童によって「悲劇から学んだことを世界中の人々に伝えていく。この地球を笑顔でいっぱいにするために、ヒロシマの願いを、世界へ、未来へ、伝えていく。」と誓いの言葉が読み上げられています。「平和への誓い」に対する教育長の見解を求めたいと思います。

【答 弁…教育長】

先の大戦におきましては宇和島市も多大の損害を受けました。多くの若者が戦場に赴き、帰らぬ人となり、また十数回にわたる宇和島空襲においては、当時の市街地のほとんどが焼け野原となり、300名近い市民の方が犠牲になられました。こうした歴史的背景を考えますと今の子供たちには、二度と戦争の惨禍を経験させてはならないという強い思いを持っていること

るであります。また今の豊かさはこうした先人の方々の犠牲と努力の上に成り立っていることを子供たちに伝えていかなければならないと考えております。現在の平和で豊かな現状に満足することなく、一人一人ができるよう、そういう努力ができる子供たちには是非、育てていきたいと考えております。

【質問】

宇和島市は2006年、非核平和都市宣言を行い、2008年には平和市長会議に加盟しています。このことを踏まえた、実効性ある取組が今、求められています。

全国の先進地の事例等を踏まえ、市長はどのようにお考えでしょうか。

【答 弁…市長】

それぞれの市がそれぞれの歴史も踏まえながらいろいろなイベントをやっていることをあらためて思い出しました。宇和島市をみてみますと、平和を語る会、語る活動というところで一番大

きなものは、5月10日の宇和島空襲を語る会の方々主催によります空襲にて犠牲になった方々の慰霊と、また秋には毎年、戦争で亡くなられた方の慰霊祭ということ、市主体でやっております。ただこの2つの事業をみたときに、参加しているのは、私よりも上の年代の方々ばかりだなということ、今回のご発言で思い返しております。語り継ぐということ、若い世代にも加わって頂かなければいけないということになりますし、小学校から上の世代が参加ができるように、またその子達に平和のありがたさ、戦争の悲惨さを理解してもらえらるような事業も必要です。そういうイベントには子供たちにも参加するよ様な仕組みというのを行政として考えていく必要があるのではないかと考えている次第でございます。

### その他の質問事項

- ◆城山等の整備について
- ◆労働安全衛生について

自民党市民クラブ

赤松 孝寛

### 給食センターについて

【質問】

市長は、6月25日の全員議員協議会で津島町の候補地を断念され、7月29日の全員議員協議会で宇和島製氷跡地での建設をしたいと発表されました。

私は、市長の専決事項であつても、これから議会と協議されるのかと思つていました。しかし、今補正で予算計上されています。どういった候補地の中から選定されたのか、またその中には民間用地はあったのか、市長にお尋ねいたします。

【答 弁：市長】

給食センターの建築ということに関しては、最初から候補地は市の所有している土地を対象としていふ言つており、今日に至るまでその思いで選定をしてきた結果であることご理解いただきたいと思います。

【質問】

私としても、当然今の学校給食衛生管理基準違反を早く解消していただく為にも早期着工を望むものであります。

しかし、将来、民間に売る事も考え易い土地ではないでしょうか。申請はこの用地で取りあえずして、もっと良い条件の土地があれば変更する事も可能なのでしょうか。

【答 弁：教育長】

今、市長が答弁いたしました通り、市有地の中から選んでいただきましたので、当然この候補地で進めていきたいと思つています。

【質問】

続いて、現在の給食センターの正規職員調理員の方で調理士免許を有している人は何人おられますか。

又、一般職員の勤務日数は21年度242日でしたが、センター職員の調理員の方の勤務日数を教えてください。

【答 弁：教育長】

今、正規職員9名、嘱託職員22名が調理員として勤務してあります。調理士免許を持っているのは、正規職員中7名、嘱託職員中7名、合計14名です。21年度のほとんどの職員の勤務日数は、242日でしたが、正規職員9名中、5名だけが214日。当然のことですが、給料に差がございます。

【質問】

先日、給食費無料化の要望を求める方が、1万人余りの署名簿を携えて行政、議会にこられたようです。この件は、市長自らが公約違反と我々に陳謝されました。私も、後援会や地域住民に自治会総会で説明をさせていただき、市長の代わりに謝つた事があります。その中で、地域住民、後援会の方にご理解をえたものと思つておりましたので、非常に困惑しております。

そもそも学校給食法で食材は、保護者負担、調理運営は小学校の設置者が負担することになっていると昭和29年の学校給食法に謳つております。当市では、小学校230円、中学校265円の食材費の負担をいた

だき、1食あたり190円の調理運営費を本市から負担していると思つています。大変な時間と労力をかけて署名集めをされた方が現実的におられる事は、市長の説明が不十分であつたのではないのでしょうか。もう一度正確に無料化断念の経緯と将来のビジョンがあるならお聞かせいただきたいと思つています。

【答 弁：市長】

まず、給食費につきましては、材料費を保護者に負担していただく。そしてその他の給食センターの運営費につきましては市がすべてみるということで原則運営しておりますので、190円というのは多分宇和島市の給食センターの平均した1食あたりの配食原価だと思つています。今後、新しい施設を建設しましたら当然これは、大きくふくらんでくるだろうという風に思つております。ただ、必要な事をやっていくという中で新給食センター建設という事は急いで頑張つていきたいと思つております。

また、給食費の無料化ということにつきまして、民主党が子ども手当ということで1万3千円の現金支給をするということを今年度から決めております。それを見た時に、私の子どもの育成のための子育て支援策ということで考えているということでも民主党の政策とおおいにタブるといふことで市の財政もかんがみて優先順位を落としたということでございます。これについては私としては市のPTA連合会にも直接行きてまして、話をさせていただきますまして、一応ご理解を得ております。

### その他の質問事項

- ◆観光行政について
- ◆組織機構について
- ◆入札制度について
- ◆固定資産税について

